

様式第4号（第10条関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度第2回西脇市環境審議会
開催日時	平成29年7月13日（木） 午前10時～12時25分
開催場所	マナビータプラザ3階ホール
出席委員の氏名 又は人数	横山孝雄 小林拓郎 下中秀男 藤原孝三 大隅明文 久米敏正 小田晴美 城口孝子 時政良光 佐ノ瀬敏章 笹倉克子 大崎夏子 森 一仁 築谷尚嗣 北尾 進 藤原利昭
欠席委員の氏名 又は人数	内橋昌子 生田忠之 岡本政和
出席職員の職・ 氏名又は人数	（幹事） くらし安心部長 高田洋明 （事務局） 環境課長 西村幸浩 環境課長補佐 長谷川広幸 環境課 石塚千晶
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	2人
議題又は協議事項	1 開会 2 委員紹介 3 審議事項 (1) 西脇市環境基本計画の中間見直しについて て (2) 西脇市一般廃棄物処理（ごみ処理）基本計 画の策定について 4 その他 5 閉会

会議の記録（概要）	
発言者	
事務局	1 開会
事務局	2 委員紹介 委員の交代により、新たな委員1名を紹介。
事務局	・ 西脇市環境審議会規則第3条第1項の規定により、会長が会議の議長となる。
議長	○ 議事録署名人選出 本日の議事録署名人に、会長が大隅委員、時政委員の2名を指名
議長	○ 会議の公開・非公開確認 ・ 非公開内容が無いことを審議会において確認したため、本日の会議は公開とすることを決定
事務局	○ 傍聴定員の決定 ・ 本日の傍聴希望者は1人であることを報告
議長	・ 運営規則第4条に定める定員以下のため、入室を許可
	3 審議事項
	(1) 西脇市環境基本計画の中間見直しについて
議長	・ 西脇市環境基本計画の中間見直しについて、事務局から説明を求める。
事務局	・ 事務局より内容説明
議長	・ 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
委員	・ 「はじめに」の市長あいさつのところで、2行目の「豊

委員	<p>かな自然環境」という文言が気になる。「恵まれた自然環境」と表現すれば、難がないのではないか。また、25ページの写真の下のキャプションのところで、「豊かな自然環境」「豊かな恵み」とある。これも文言を考えた方が、いいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レッドデータブックのランクが書いてあるが、古いデータである。今、2013年まで新しいのが次々出ている。これも見直したほうがいい。 ・ この計画は、写真も多く掲載され、地域の皆さんの顔も写っており、大変わかりやすい。中間見直しに当たり、だんだんきめ細やかに進められて、きれいになってきたというのが感想である。大変いいものができあがってきつつあると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギーの地産地消を考えると、一番手近にできることは、公共施設への再生可能エネルギーの導入だと思う。市役所やごみ焼却施設が建て替わるが、これらの施設にどのように導入されるかが気になる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連で言うと、67ページの表の中で、公共施設への再生可能エネルギー活用設備導入施設で、現状値が20件で、目標値が20件となっているが、新しい施設整備とがあれば、もう少し増えていくのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎については、平成33年の完成を目指している。この中間見直しの目標年度が32年度であるため、目標値には含めていない。新しいごみ処理施設についても、平成36年4月の稼働を目指しており、また、西脇多可行政事務組合で進めていることもあり、それを市の計画に含めるかどうか、ということを検討しなければならない。いずれも、今回の計画の中間見直しの中には、年度的には含まれていない、と理解をいただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員から、修正事項や意見等をいただいた。全体としてはこれで、中間見直し完了ということで承認いただけるかお諮りする。また、修正等や答申書の作成及び答申についても、会長及び副会長に一任いただくことに承認いただけ

	<p>るかお諮りする。</p> <p>(全委員の賛同により、承認された)</p> <p>議長</p> <ul style="list-style-type: none"> • 関連して、西脇市環境基本計画の推進について、運用面を議論したい。 • 1つ目に、この計画の推進に当たり、点検や評価等は誰が行うかということ。 • 本計画の最終年次に行う評価等の作業について、第5章99ページから101ページに、市民、事業者、行政が、協働しながら、PDCAのサイクルで事業の推進に当たっていくことが記されている。計画の終わる段階において、点検は誰がしたらいいのか。その検証は点検とは違う誰がしたらいいのか。評価は誰がしたらいいのか。本計画における成果がどこにあって、課題がどこに残されていて、ということ私たちが認識して、次の計画を立てて行くというプロセスになっていくかと思われる。 • 計画の進行管理に関わって、点検はどんな立場、どんなメンバーであるのか。その際に用意されているのが、点検項目票。それを一覧にしたシート。そんな点検票やシートは誰が作るのか。 • 今後の展開だが、報告書は毎年出てくるのだろうか。また、審議会は毎年開催されるのだろうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 今後は、環境審議会を常設させていただきたいと考えている。毎年、数値の検証をして、環境審議会にお諮りしたいと考えている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> • これから見直しまでの4年、5年のうちの1番最後に出ているステージの1年ほど前に、点検をし、検証し、次の計画に、それらが反映されていくというイメージを、委員の皆さんに持っていただけたかと思う。 • 2つ目に、西脇環境づくり市民会議の関わりについてである。 • この環境基本計画の推進母体として、西脇環境づくり市民会議「エコネットにしわき」が立ち上がり、推進に精力

	<p>的に当たっていただいている。その組織が、例えば点検だとか検証だとか、評価はないかも知れないが、それにどのように関わるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコネットにしわきの構成メンバーを見ると、市民及び市民団体のみである。計画の推進に当たるのは、市民と事業者と行政であるが、事業者や行政が組織に入っていない。事業者からの参加、行政からの参加をもって推進母体とし、3者がパートナーシップのもとで推進に当たられるような活動を、ぜひお願いしたいと思う。 ・ 3つ目に、アクションプランについてである。 ・ 本計画には、アクションプランが作られていない。他自治体のアクションプランをご覧いただくと、100も150もあるそれぞれの取組に対して、誰がするのかということが直接的に書かれている。このようなものができていると、見直し時に進捗評価の客観的評価が行える。今回の中間見直しの中で新しい目標案を設定したので、これらの目標案を中心に、見直し時に行う第三者的な点検委員、検証委員のもとで作業ができていくような仕組みを、我々審議会がリードしていくことが必要ではないかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策をしている行政でないと、点検作業はできないのではないか。 ・ 評価委員会を立ち上げるか、あるいは、屋上屋を重ねることを避けるならば、私どものような環境審議会で、一定の評価をする。それを受けて、例えば、次期計画で、こういったところが足りなかったのであれば、こういったところをやればいいのではないか、といった形で進めるのが普通ではないかと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局、行政から私たちに1年に1回、報告がされ、その報告に基づいて私たちが進行具合をチェックしていく。それを2年、3年、5年、積み重ねていくと、見直しもスムーズに、客観的に行えるのではないか。 ・ 次期計画策定に向け、これからの推進のあり方を申し上げた。 ・ 先ほど採決したので、これで、中間見直しの審議は終わりとする。

	<p>(2) 西脇市一般廃棄物処理(ごみ処理)基本計画の策定について</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 事務局より内容説明（骨子案P47まで）
議長	<ul style="list-style-type: none"> 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 28ページに目標値の達成状況、実績値が記載されているが、それぞれの評価や達成しているのかどうかを、表の下にでも入れたほうが、後で見やすいと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 28ページに現行計画とあるが、我々はみどり園の計画があると知っている。今協議している計画は、市で初めての計画なので、第2章までのところに現行計画について何か説明があるのではないかと。他市の人が読めば、初めての計画なのか、前があるのか混乱するのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> この現行計画とは、みどり園で策定された計画のことである。今回西脇市が作ろうとしている計画は、初めての計画であるため、そのあたりを分かりやすく表記したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 分かりにくい表現が出てくるので、分かりやすい表現に改めていただきたい（資源化率と資源回収率の違い、排出原単位、焼却以外の中間処理量、最終処分減量に要す費用、最終処分減量に要す費用）。 骨子案は一貫した流れ、ストーリー性があるのではないかと。少しブツブツ切れているような感じがする。西脇市の気象や産業や人口が、その後の展開の中でどう関わりがあるのかが、あまり感じられない。 19ページの1人1日当たりのごみ排出量の推移では、事業系ごみと集団回収量は、含まれた量になっているのかどうか。もう少し書いたほうが分かりやすいのではないかと。 20ページの中間処理の概要で、「リサイクルプラザでは学習ルームを併設しており」とあるが、これは環境学習のところに記載したほうがいいのではないかと。 25ページ、2行目に処理残渣埋立量は減少しているとあるが、図表を見ると、減少と言っているのか。

	<ul style="list-style-type: none"> • 32ページの焼却灰はフェニックスに行っているのではありませんか。図表3-20の最終処分量に、フェニックスへの搬入量も含まれているのか分かりづらい。 • 26ページごみ処理経費には、事業系ごみや集団回収助成金も経費に入っているのか分からない。 • 27ページの温室効果ガスは、これは収集運搬などのCO₂の排出量だと思うが、これはみどり園のものだけなのか。 • 議長からもあったが、28ページの現行計画が、いきなり出てくる。みどり園が作った計画を現行計画と呼んでいいのか分かりづらい。各種施策の進捗状況は、ところどころ施策内容と実施概要が繋がっていないと感じた。 • 33ページからの調査結果等は、調査時期と抽出量等を記載していただきたい。また、調査された業種や業種によっての特徴点などを記載していただければと思う。ヒアリング調査についても、どこを調査されたのか分からないように思った。 • 課題も、(1)ごみの減量化は、台所ごみの減量化が不十分だとか、何かそのように記載すれば、(2)や(3)と同じような表現になると思う。(6)は事業者への働きかけがどうなのかということを書かれたほうがいいのではないかな。 • 基本理念と基本方針は大切なところだと思うが、分かりやすい表現で、もう一度考えてはどうか。「資源循環のまち」はもっと分かりやすい言葉で西脇市らしい表現の仕方をもう少し考えてもいいのではないかな。基本方針も、一般的な表現でなくて、これからこの計画で12年後を目指して頑張るということにふさわしい表現、他都市ではない、西脇市らしさを持った表現にしてもいいのではないかな。
議長	<ul style="list-style-type: none"> • この短い時間の中で全部指摘するのは難しい。よろしければ本日の資料に、気になる表現、重複、何かお気付きのことを記載して事務局に出していただければと思う。構造的な問題や、これをどう考えたらいいかなどを中心に議論を進めたいと思う。骨子については、今回と次回で一般廃棄物処理基本計画の審議をするということを紹介いただいて、議論に戻りたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 今回は、お示ししている第6章の目標の設定までを議論していただきたいと思っている。次回は、ご意見を検討・反映

	<p>させたものと6章以降の項目と合わせて議論いただき、一般的な審議をいただいたということにしたい。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、47ページまでいったん議論いただいたということで、残っている部分の説明後に意見をいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局より内容説明（骨子案P48）
議長	<ul style="list-style-type: none"> • 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 「ともに進める“ごみ減量”と“資源循環”」というのはいいのだろうが、後ろに「のまち」と入っているのが何か引っかかる。“まち”を取ってしまったらいいのではないか。その下に、大量生産、大量消費及び大量廃棄型の社会の見直しとあるが、これもだいぶ前から言われているので、そろそろ外したほうがいいのではないか。全国的に見てもごみ量はどんどん減っていて、ピーク時に比べたら3～4割減っている。このフレーズは新しくない感じもするので、もう一度検討いただけたらと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> • 各種リサイクル法ができ、状況が変わっているので、今の課題にのっとったものがよいと思う。この主題と副題、裏返して同じことを言っている。副題は転換があってもいいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 「ごみは資源」と捉えては、ごみは資源だから増やしたらいい、になる。資源をごみにしているからおかしいのであって「ごみは資源」は少し抵抗を感じる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局より内容説明（骨子案P49）
議長	<ul style="list-style-type: none"> • 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
議長	<ul style="list-style-type: none"> • 最近1～2年の一般廃棄物処理計画をピックアップすると、災害時における適正処理の体制づくりというのが出てくる。福岡で発生した水害など、どこでも起こりうるので、そのようなことは、基本に1つ入らないのかと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民・事業者・行政の協働によるごみの減量は、協働とごみの減量がどう結び付くかが分かりにくい。具体的な協働が何を意味しているのか囲みの中の文章からも読めないし、資源物だとか未利用食品とあるが、それを何で協働なのかというのが少し分かりにくい表現になっている。2つ目の「資源循環に向けた分別の徹底と再使用、再生利用の推進」、これは「分別の徹底」と「再使用、再生利用の推進」が別の項目になると思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働が一番下に来ていれば、それなりに収まるのではないか。ごみの減量やリサイクルがあって、そのことを三者でというのだったら、それなりかなと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの新処理場の建設計画と今回の基本計画の審議について、どういう関わりをもって審議したらいいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ この計画は12年、平成30年度から41年度で、前半の6年間は、現行のみどり園の施設で処理を行い、ちょうど半分は新しい施設での処理になる。今回、施設を整備するにあたり、市の計画を定めようとしてご審議いただいている。施設稼働に向けてごみの減量や資源化など、今できることをやっけていき、36年4月にスムーズに移行できるというふうなつくりをしていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画を立てる時に、ここは少し新しいのがいいとか、一方で既存の方法で進めたほうが連携が取れる、地域や社会全体で連携が取れるような部分も必要ではないかと思う。そのような筋が通っていて、その延長に西脇市らしさというものがあればと思う。 ・ 災害廃棄物は、必ず隣の自治体をお願いしたり、されたりする。それをどう言葉にするかだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正処理困難物や特別管理一般廃棄物について、安全・確実な処理を推進するとあるが、直接処理されることはまずないと思うので、全文を削除されたほうがいいのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より内容説明（骨子案P50）

議長	<ul style="list-style-type: none"> 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ごみ排出量と資源化率、最終処分量、これはだいたいどこでも設定されるのでいいと思うが、燃やすごみ量の目標設定は非常に少ないと思う。それを特徴にしようと言うなら1つの方法だが、次のごみ処理施設をどういう方式にするか、例えばメタンガス等なども候補の中に入れていけるなら新施設にいたるところでギャップが出てくるので、新施設が決まらなると後段部分の目標設定はできないということもあり得るのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 目標設定を考えるときに、基本方針とどう対応しているのか考えていく必要があるのではないか。また、ごみ排出量に集団回収の量を含めると、排出量を減らす時に、集団回収量も減らさなければならないので、集団回収は除外した形で焼却や埋立するごみを減らすほうが分かりやすい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 西脇市の人口や産業がどういう姿にあるのか。西脇はごみ1人当たりが少ないので、さらに全国的な水準で減らしていくのかという作業になってくる。あるいはもう減らしきっている状態なので、もう難しいという判断をするのか。全国的に見ると、そんなに工業、製造業は多くない。産業構造がどうなっていくそうだから目標設定はどうする、というようなストーリーとして分かる資料にしていたらと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 集団回収は、含んだ分と除いた分と両方目標として一応設定して、メインは集団回収量抜きで取り組むなど、やり方はいろいろあるかと思うので検討いただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 宝塚市では、基本理念に「ごみゼロ」と入れていた。燃やすごみはゼロにしようという姿勢がいろいろな地域で生まれている中で、姿勢の部分でわれわれはまだちょっと甘いと思ったりするので、意義のある計画目標をと思う。 新施設の展開にしても、この時代からすると負担は大きいので、計画の中で事業者を含めて地域の経済的な負担と利益をどのように考えるのかが基本にあるのではないか。

<p>事務局</p> <p>くらし 安心部 長</p>	<p>もしよければご意見を賜れたらと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回も計画についての審議があるので、今日の審議については、これで終わらせていただきたい。 <p>4 その他</p> <p>○ 事務連絡</p> <p>5 閉会</p> <p>○ くらし安心部長より閉会のあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境基本計画は今回で審議を終え、中間見直しについての答申をいただくこととなった。今後、必要な手続きを経た後に内容を確定させ、それ以降は新しい計画に基づいて市民の皆さまとの協働の下、本市のより良い環境づくり、まちづくりを進めていきたい。 ・ 一般廃棄物処理（ごみ処理）基本計画については、次回以降に具体的な数値目標やごみの減量や資源化策など、取り組むべき具体的な施策について提案をさせていただきたい。審議会でご意見を頂戴し、より良い計画を作り上げていきたいと考えている。引き続きご協力をお願いしたい。
問 合 せ 先	くらし安心部環境課